



その「物語」の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.070
a taste of Ya'ssy

田中 康夫



Ya'ssy

たなかやすお●'56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。(公式ブログ) www.nippon-dream.com/

競技開始直前にレースドライバーが炭水化物のパスタを頬張るのには、短時間で熱量を燃焼させ、瞬発力を高める為、と物の本は語ります。成る程。が、その分、空腹に陥るのも早まります。

朝食は御飯、の頻度が高まっていました。十六穀米、玄米味噌汁、塩鮭、納豆と共に水菜と雑のサラダ、も添えて。健康的、だと僕も妻も信じていました。が、難点は、胃腸の活動が活発化する為か、空腹を覚えるのも早い点。結果、それなりに昼食も夕食も摂ってし

まいます。無論、夜は酒精も。昨年3月、左脚の人工股関節全置換術を受けた僕は、月に一度、執刀した整形外科〇医長の診断を兵庫県立尼崎病院で受けています。7月上旬は採血も実施。すると突如として血糖値269を樹立。迂闊にも2時間半前に阪神尼崎駅前の松屋で豚キムチ丼大盛を食べたとは言え、常に血糖値110の上限内に収まっていた僕は目を白黒、奈落の底に落ちた衝撃です。

紹介を受けて7月下旬、東京都済生会中央病院糖尿病臨床研究セ

ンターのAセンター長の問診を受けます。血糖値は92。HbA1cへモグロビン・エーワンシーは新基準のNGSPで5・7。特段の問題無き状態と診断されました。

25年前、「ターザン」誌で連載した田中康夫の減量作戦を想起しました。3ヶ月半で-12・5kgを達成したのは、和田式食事法と呼ばれる9品目。肉・魚・貝・海草・豆類・野菜・卵類・乳製品・油脂。

穀類も果物も甘味も酒類も厳禁。6時間以上の食間。但し一度に幾ら食べても大丈夫な方式です。

未だ如何なる事情で血糖値269を樹立か判明せねど、悪運強し。妻の努力も相俟つて、体重は3週間で3kg減。「脱デブ」宣言には程遠いが、炭水化物と糖質オフさえ守れば外食も可能。寧ろ充実の食生活を送れるのです。

妻の献身的協力を得て3週間の糖質オフ生活

今週の逸品



糖質オフ愛情♥弁当 ブライスレス

自慢じゃないが入院&手術経験は実に豊富。中3で虫垂炎。練馬区三軒寺交差点での全損事故で救急搬送。左脚の膝を二重に15針。右足首に現在もヒビ。内視鏡での膀胱腫瘍摘出4回。膀胱を全摘し、小腸を用いて膀胱を新たに設ける膀胱全摘除術・回腸新膀胱造設術と喚ばれる手術では入院3週間で、本文で紹介の人工股関節。更に蜂窩織炎でも。他人は満身創痍と哀れむが、逆に数値確認も含め留意してるので常時健康体ね。

illustration by Hajime Anzai

今回は「糖質制限」を実施。W妻の献身的協力を得て、3週間の期限で、炭水化物を摂取せず、糖質オフに努める方策でした。

何れも100g当たり糖質量は、白米御飯36・8。玄米御飯35・6。食パン44・4。餃子の皮54・8。パスタ69・5。素麺70・2。菓子類・果物類・芋類・根菜類に留らず、炭水化物は糖質も高いのです。納豆や豆腐、蒟蒻を除けば、粗食II健康食とは限りません。

逆に意外や意外、高コレステロールの印象が強い卵は推奨品目で、マヨネーズも鉢柄に揃っては15g当たり僅か糖質0・1g。オレイノ酸が主成分のオリーブ油も心臓病抑制効果を齎します。



とまれ3週間、ハムエッグや緑黄野菜を始めとする糖分計算した具を、低糖質なパンズに挟んだのが朝食。昼食は、糖質10gに計算した写真の愛情弁当。三色そぼろの下には御飯ならぬ炒り豆腐。

で、夕食は食材や調味料に留意すれば、比較的の自由自在。酒精も蒸留酒に加えワインも。更に麦酒も日本酒も糖質ゼロを選択すれば愉しめます。

未だ如何なる事情で血糖値269は程遠いが、炭水化物と糖質オフさえ守れば外食も可能。寧ろ充実の食生活を送れるのです。